

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	670102128
法人名	株式会社 ジェイバック
事業所名	グループホームもも太郎さん(黄金)
訪問調査日	平成 20年 11月 26日
評価確定日	平成 21年 1月 14日
評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	670102128
法人名	株式会社 ジェイバック
事業所名	グループホームもも太郎さん(黄金)
所在地 (電話番号)	山形市黄金81-1 (電話)023-646-6577

評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形市檀野前13-2		
訪問調査日	平成20年11月26日	評価確定日	平成21年1月14日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成18年3月25日				
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人		
職員数	14 人	常勤	12人, 非常勤	2人, 常勤換算	13.5人

(2)建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	木造 造り	
	2階建ての	階 ~ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4)利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	6 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	70 歳	最高	99 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	伊藤泌尿器科クリニック	城西医院
---------	-------------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>市の中心部から少しだけ離れた二階建てのたたずまい。後方には田や畑が広がり環境の良い場所に位置しています。当ホームは家庭での生活の延長として「自らの意思で自由に生活する事」の自由な生活を大切に、運営理念の中で「家族の絆を大切にする」をモットーにしているだけあって、家族とも暮らせるように「家族部屋」を設けてあり、これからの高齢化における拠り所として心身共に支えあい、安心して暮らせる、和気あいあいの暮らしづくりがうかがえる事業所です。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善項目として7項目挙げられているが、管理者の交代等もあり全員での内容検討の取り組みには至っていない。しかし評価項目によっては職員に意見を求め、前向きに一つひとつ検討、見直しをし順次改善に努める努力が見られる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者の交代が先月あったばかりで、評価を活かした具体的な取組みは行われていないが、今後職員一人ひとりの意見を取り入れ、全員での取り組みに力を入れていきたいと考えている。サービス評価(自己評価・外部評価)の意義や目的を全職員に伝え、改善に向けての具体的な検討や実践に繋げる取組みを期待されます。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は昨年に1回開催されたのみでその後行われていない。年度内に1回実施をし、その後は2ヶ月に1回の開催を目標にあげ幅広い立場の人たちへの参加等の呼びかけをし、メンバーからの意見等を運営の改善、反映に繋げていきたいと現在見直しをしている。定期的な2ヶ月に1回の開催が今後のサービスの質の向上に活かされるよう是非取り組みに期待されます。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情相談窓口は掲示されていないが、家族等が職員に意見や不満、苦情を話せる機会づくりとして、年1回の夏祭り時に「家族に意見をもらう会」を設け運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、公民館には夏祭りや文化祭などの行事毎に皆で出かけ楽しく過してきます。ホームの近くには野菜類を配達してくれる農家の方や床屋さんもあり顔なじみの関係を築き、地域の人たちとの交流を図る環境作り力を入れている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	同一運営法人の理念「自由に生きる、家族の絆を大切に」を玄関や事務室、ホールに掲げているが、ホーム独自の理念はまだ作られておらず、これから作る予定にあり現在検討中である。		同一法人のすばらしい理念と、地域性を生かしたホーム独自の理念の構築を是非望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時には唱和をし、月1回のユニット会議や全体会議等にも理念を共有、意識を高め実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、公民館には夏祭りや文化祭などの行事毎に皆で出かけ楽しく過してきます。ホームの近くには野菜類を配達してくれる農家の方や床屋さんもあり顔なじみの関係を築き、地域の人たちとの交流を図る環境作りに力を入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者の交代が先月あったばかりで、評価を活かした具体的な取り組みは行われていないが、今後職員一人ひとりの意見を取り入れ、全員での取り組みに力を入れていきたいと考えている。		サービス評価(自己評価・外部評価)の意義や目的を全職員に伝え、改善に向けての具体的な検討や実践に繋げる取り組みを期待されます。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は昨年に1回開催されたのみでその後行われていない。年度内に1回実施し、その後は2ヶ月に1回の開催を目標にあげ幅広い立場の人たちへの参加等の呼びかけをし、メンバーからの意見等を運営の改善、反映に繋げていきたいと現在見直しをしている。		定期的な2ヶ月に1回の開催が今後のサービスの質の向上に活かされるよう是非取り組みに期待されます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	相談等を通じ市の担当窓口や包括支援センターとの連携や連絡協議会での情報交換等を密にし、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所からの積極的な報告を不可欠と考え、毎月「おたより」を発行し生活の様子、健康、催事等のお知らせをしている。変化が生じた場合は、電話での報告や面会時を利用し、家族との情報提供に繋げている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口は掲示されていないが、家族等が職員に意見や不満、苦情を話せる機会づくりとして、年1回の夏祭り時に「家族に意見をもらう会」を設け運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1名のスタッフが2名の利用者を担当しており、何でも話し合える雰囲気作り心がけ、職員の異動時には口答での説明を行い、できるだけダメージを防ぐ配慮がみられる。尚、家族等にはお便りを利用し報告をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	10月より月別に勉強会を行う等事業所内外の研修会に参加をし、報告は毎月の全体会で発表してもらい、報告書は閲覧し互いに意見を出し合い、意識を高め職員を育てる取り組みをしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会や実践者研修等に参加したり、訪問実習等も年2回実施し情報交換や交流、連携の必要性を学びながらサービスの質の向上に活かしている。今後、同一運営法人グループホーム同士の交流を検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 馴染みながらのサービス 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員ペースにならないよう日頃より配慮し、食事の作り方や旬の材料の活用方法あるいは野菜洗い、切り方など各自のやりたいこと、できることへの参加の声をかけをし、一緒に支え合う関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを基に利用者一人ひとりの思いや希望、意向を聞いている。その中でも特に把握の困難な方には行動や表情、体調などを汲みとり、日々の関わりを持つようにしており、フロアミーティング時には各自より意見を出してもらい意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	申し送り時に情報の共有を行っているが、今後は家族等の気づきや、要望などの意見をもっと積極的に取り入れた利用者本位の介護計画にしていきたいと考えている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に3ヶ月毎に見直しをしているが、心身状況に変化があった場合や雑巾かけやシーツはがし等の出来る事、やりたいこと等を予防的な対応として随時の見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者と家族等の希望を大切に、受診時はほとん どの方が家族付添いの形をとっており、事業所の援助は 遠方の方のみである。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	昨年1名、今年に入って1名の方が終末期を迎えてお り、同意書については特にないが、事業所の方針とし ては「経口摂取ができなくなった場合に転院を考慮し てもらい、事を入所時に伝えている。		ターミナルケアに備えての医療側を中心とした関係者間 での話し合いや、連携体制作りに取り組んでいく必要性 は十分に理解されているようなので少しずつ今後に期待 されたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	利用者一人ひとりを尊重し、関わりの中で目立たず、さ りげない言葉かけや、周囲に配慮しながらの対応がで きています。個人情報においては記録簿等も事務所に 保管され全員での共有を図っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	自らの希望や意見はあまり聞くことはできないが、無理 のない声かけをし日中はトランプや貼り絵等に参加した り、個人のペースにあった時間帯を過し、生活のリズ ムを大切にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は職員が一週間分ずつ分担し作っている。何よりも新鮮な野菜、旬の食材に配慮し職員と共にテーブルを囲む時の話題のひとつにもなっています。また入所当時とも違い各自の好みははっきりしてきており、随時の対応もできている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	脱衣室まではスムーズに来れるが、湯に入れない方等もあり、一人ひとりの特徴を職員全員が理解、把握し声がけの工夫等もみられ個別にあった入浴の支援をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の活力を引き出すことの一つとして、草取り、花への水やり、簡単な掃除、洗濯物たたみ等の場面作りをし、個人に合った役割や気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者本位に周辺への散歩を日々自由に行なっている。季節を肌で感じてもらい、その時々状況に応じ気分転換等に取組んでいるが、中でも帰宅願望の強い人には前後の状況把握を全員で共有しながら見守り支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	鍵をかけることの弊害は理解しているが、2階は利用者の安全を考えた上での施錠となっている。1階部分においては鈴を付け出入りがわかるようにしているが、確認が取れない時もあり、安全面を考慮し、職員間の申し送り場所を入居者の動きの見えるところに検討中である。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年は事業所独自で行ったが今年は12月に1階を火元とし日中を想定した訓練を予定している。		地域との連携の一つとして町内会や地元の消防団、運営推進会議等で一緒に訓練を行う呼びかけ等の働きかけに期待されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量のチェック記録があり、食が進むよう利用者の好みや状況に配慮し工夫をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活のリズムを崩さず自宅の延長として捉え、部屋の中も利用者の手作り品が多く、各部屋毎に色分けしたのれんが掛けてあり、季節感のある飾りつけ等も行い暮らしの場として配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳部屋として利用の方もおり馴染みの物を活かし、その人らしい生活がうかがえる。なかでも各ユニットに家族部屋が2部屋用意されており、「姉弟」「親子」「家族」等の利用もでき、安心して暮らせる支援をしている。		